

倉敷ゆかりの
若手プレイヤーによる
室内楽コンサート。



安保恵麻 — ヴイオラ
Emma Ambor, Viola



松本和将 — ピアノ
Kazunasa Matsunoto, Piano



上野通明 — チェロ
(ゲストアーティスト)
Michiaki Ueno, Cello

Kurashiki
Virtuoso
vol.4

A Concert of The 33rd KURASHIKI MUSIC FESTIVAL

3大ピアノトリオを聞く!

倉敷の ヴィルトゥオーゾ Vol.4



— [Program] —

< 3大ピアノトリオ (第1楽章のみ) >

メンデルスゾーン 第1番

ベートーヴェン「大公」

チャイコフスキー
「偉大なる芸術家の思い出に」

シューマン:
ピアノ五重奏曲変ホ長調 Op.44

※都合により曲目・曲順が変更される場合がございます。
あらかじめご了承ください。



黒川侑 — ヴァイオリン
Yu Kurokawa, Violin



守屋剛志 — ヴァイオリン
Tsuyoshi Moriya, Violin



岸本萌乃加 — ヴァイオリン
Hanoka Kishimoto, Violin

第33回 倉敷音楽祭
The 33rd KURASHIKI MUSIC FESTIVAL
音 楽 祭
PROFESSIONAL
ARTIST
PERFORMANCES
平成30年7月豪雨災害
復興支援事業

2019

3/17 (日)

会 場

倉敷市芸文館 ホール

時 間

開場13:30 開演14:00

発売日

アルスクらしきチケット会員先行発売 12月11日(火) | 一般発売 12月13日(木)

全席
指定

一般

2,000円

大学生以下

1,000円

当日各500円増

就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

主催/倉敷市・山陽新聞社・倉敷市文化振興財団 共催/倉敷市教育委員会 協賛/公益財団法人JFE21世紀財団

ご予約
お問合せ

アルスクらしきチケットセンター

TEL.086-434-0010 (営業時間9:00~17:00)
土・日・祝日は休み

インターネット予約/倉敷音楽祭2019サイト

<https://arsk.jp/m-fes/>



チケット取り扱い
プレイガイド

【倉 敷】倉敷市芸文館、インディスク(天満屋倉敷店4F)

【岡 山】ぎんざや、岡山シンフォニーホールチケットセンター、岡山県音楽文化協会

【その他】電子チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:134-338) <http://t.pia.jp/>

Kurashiki Virtuoso vol.4

A Concert of The 33rd KURASHIKI MUSIC FESTIVAL

倉敷のヴィルトゥオーゾVol.4 | 3大ピアノトリオを聞く！

松本和将 ピアノ

Kazumasa Matsumoto; Piano

幼い頃よりピアノに目覚め、高校在学中に「ホロヴィッツ国際ピアノコンクール」第3位など、国内外のコンクールで上位入賞。1998年19歳で「第67回日本音楽コンクール」優勝。併せて増沢賞はじめ、全賞を受賞。2001年ブゾニ国際ピアノコンクール第4位、2003年エリザベト王妃国際音楽コンクール第5位入賞。これまでにブラハ交響楽団、ブラハフィル、ベルギー国立オーケストラ、読売日響、日本フィル、新日本フィル、東京交響楽団、東京フィルなど、多くのオーケストラと共演。2009年から3年連続のオールショパンプログラム全国ツアーを行い、2016年より「松本和将の世界音楽遺産」と名付けたリサイタルシリーズを開始。室内楽にも積極的に取り組み、イザベル・ファウスト、前橋汀子、宮本文昭など多くの名演奏家と共演。2010年より上里はな子、向井航とピアノトリオを結成し、2012年には東京、京都、広島を始めとする6都市で全国ツアーを行い、2016年には京都フィルとベートーヴェンの三重協奏曲を共演。これまでに2枚のレコード芸術特選盤（「展覧会の絵」「後期ロマン派名曲集」）を含む18枚のCDをリリース。東京芸術大学非常勤講師（2008～2012）、くらしき作陽大学特任准教授、名古屋大ピアノ演奏家コース特任准教授として、後進の指導にもあたっている。



公式HP

<http://www.kaz-matsumoto.com>

公式ブログ

<http://www.kaz-matsumoto.cocolog-nifty.com>

黒川侑 ヴァイオリン

Yu Kurokawa; Violin

2006年日本音楽コンクール第1位、岩谷賞（聴衆賞）他3つの特別賞を受賞。2015年ルドルフォ・リビツァー国際ヴァイオリンコンクールでAnna Piculin特別賞、2016年仙台国際音楽コンクールで聴衆賞を受賞。これまでにスイス・ロマン管弦楽団、スペイン国立管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団など国内外のオーケストラとの共演、リサイタルなど多くの演奏会に出演。京都市交響楽団定期演奏会（広上淳一氏指揮）での演奏がCD「名曲ライブシリーズ」に収録された。また国際音楽祭ヤング・ブラハに招待され、ファイナルコンサート（ドヴォルザークホール）で、ブラハ室内交響楽団と共演。その後再度招待され、ワルトシュタイン宮殿を始め、チェコ各地で演奏会に出演して高い評価を受ける。ウィーン、ブリュッセルで研鑽を積んだ後、桐朋学園大学院大学（修士課程）修了、現在エコール・ノルマル音楽院で勉強を続けている。工藤千博、P.ヴェルニコフ、漆原啓子、堀米ゆずり、藤原英雄、S.ルセフ、F.シゲティの各氏に師事。倉敷市芸術文化奨励賞、岡山芸術文化賞グランプリ、音楽クリティック・クラブ賞奨励賞、京都府文化賞奨励賞、京都市芸術新人賞、青山音楽賞、出光音楽賞を受賞。



岸本萌乃加 ヴァイオリン

Honoka Kishimoto; Violin

岡山県出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高校を経て、東京芸術大学を首席で卒業するとともに、アカンサス音楽賞及び三菱財団賞を受賞。現在東京芸術大学大学院修士課程在学中。「佐渡裕とスーパーキッズオーケストラ」メンバーに選抜され第2期、3期に参加。全日本学生音楽コンクール バイオリン部門 高校の部 大阪大会第1位。日本クラシック音楽コンクール バイオリンの部 高校の部 第1位グランプリ。宗次エンジェルヴァイオリンコンクール 第3位及び聴衆賞。東京音楽コンクール 弦楽部門第1位。横浜国際音楽コンクール 弦楽器部門高校の部 第1位及びジェラルド・ブーレ賞ならびにグランプリ。秋吉台音楽コンクール室内楽部門にてピアノ黒岩航紀と出場し第2位（最高位）。第86回日本音楽コンクール第3位。宗次弦楽四重奏コンクールにHONO Quartetで出場し第3位及びハイドン賞（課題曲賞）。ヤングブラハ国際音楽祭の日本代表として招聘されコンチルトを演奏、またブラハ各地でハープリサイタルを開催する。またニュージーランドへ親善大使として派遣され、クライストチャーチでリサイタルを開催。円光寺雅彦、梅田敏明、宮本文昭、山下一史、高関健各氏とともに、各地オーケストラ、芸大フィルハーモニーオーケストラ、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団などとコンチルトを多数協演。また学内外において様々なアンサンブル活動やソロリサイタルなどを行っている。公益財団法人 ロームミュージックファンデーション2012、2013年度奨学生。公益財団法人 青山財団2015年度奨学生。公益財団法人日本演奏連盟宗次エンジェル基金2018年度奨学生。現在、澤和樹、長原幸太、玉井菜探、小栗まこと、ジェラルド・ブーレ各氏に師事。NPO法人イェローエンジェル（宗次コレクション）より1840年製Pressendaを貸与されている。



守屋剛志 ヴァイオリン

Tsuyoshi Moriya; Violin

倉敷市真備町出身、ベルリン在住。ローム・ミュージックファンデーションより助成を受け、東京藝大、同大院、国立ベルリン音楽大ハンスアイスター卒業。ヴァイオリンを小山洋治、田淵洋子、楢山久美、浦川宜也、G.ブーレ、S.ピカールの各氏に、室内楽を岡山潔、山崎伸子、O.ヴィレ、E.フェルツの各氏に師事。青山音楽賞新人賞、同バロックザール賞、岡山芸術文化賞グランプリ、福武文化奨励賞、エネルギー音楽賞、マルセン音楽賞受賞。11年クアルテット ベルリン・トウキョウを創立、同年ミュンヘン国際コンクールで特別賞受賞。2014年オランダのオランダ国際コンクールにて優勝、アムステルダムコンセルトヘボウにデビュー。2015年フランク・シューベルトと現代音楽国際コンクール（オーストリア）第3位。カール・ニールセン国際室内楽コンクール（デンマーク）第2位、併せてカール・ニールセン賞を受賞。松尾学術財団から助成の他、（株）日本ヴァイオリンより名器特別賞与者としてカール・ストノーニ（1725）を貸与されている。日欧の音楽祭に多数出演し、エクサン・プロヴァンス音楽祭からHSBC賞2015を授与。現在、札幌・六花亭ふきのとうホールレジデンスの他、ベルリン十字教会のレジデンスも務めている。



©Neda Navaee

ゲストアーティスト

安保恵麻 ヴィオラ

Emma Ambo; Viola

4歳よりヴァイオリンを始める。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京藝術大学音楽学部を卒業。高校入学と同時にヴィオラへ転向。卒業時に同声会賞を受賞。1997年、東京文化会館新進音楽家デビューコンサートに出演。1999年、PMFに合格。PMFでは、首席奏者も務める。その他、宮崎国際音楽祭、アフィニス夏の音楽祭、オホーツク音楽祭in紋別、イタリア・チェルボ国際音楽祭などの音楽祭にも参加。NHKハイビジョン音楽館などのテレビ、ラジオ番組にも出演。その他、スタジオミュージシャンとしても、多数の楽曲に携わっている。また2009年8月2日、マツダスタジアムで始球式を務めた。2001年～2005年3月まで東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師を務める。2005年4月に広島交響楽団首席ヴィオラ奏者に就任。2017年4月より神奈川フィルハーモニー管弦楽団客演首席ヴィオラ奏者を兼任。横浜シンフォニーエッタのシーズンメンバー。広島交響楽団では、定期演奏会等でソリストも数多く務めている。これまで、ヴァイオリンを故・鷲見康郎、津田順子の各氏に、ヴィオラを菅沼準二、川崎和憲、小野富士子、市坪俊彦、ジャン・シュレムの各氏に、室内楽を北本秀樹、岡山潔、刈田雅治、田中千香士、小林道夫、生沼晴嗣の各氏に師事。



ゲストアーティスト

上野通明 チェロ

Michiaki Ueno; Cello

パラグアイで生まれ、幼少期をスペイン、バルセロナで過ごす。2009年13歳で第6回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクールにて、全部門を通し日本人初の優勝、第6回ルーマニア国際音楽コンクール最年少第1位、ルーマニア大使館賞、ルーマニアラジオ文化局賞受賞。第21回ヨハネス・ブラームス国際コンクール優勝、2018年第11回ヴォルト・ルトスワフスキ国際コンクール第2位。岩谷時子音楽文化振興財団より、第1回 Foundation for Youth、第6回岩谷時子賞奨励賞、青山音楽財団より第26回青山音楽賞新人賞受賞。これまでに、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、Neue Philharmonie Westfalen, Russian Symphony, Warsaw Philharmonic Orchestra等、国内外のオーケストラと多数共演。NHKBS「クラシック倶楽部」、NHKFM「リサイタルノヴァ」、「ブラボー！オーケストラ」、ららら♪クラシックコンサート、テレビ朝日「題名のない音楽会」等に出演。桐朋女子高等学校音楽科（男女共学）、同大学ソリスト・ディプロマコースにて全額免除特待生として毛利伯郎氏に師事し2015年より渡独。デュッセルドルフ音楽大学にてコンツェルトエグザメンコースを修了し、現在ピーター・ウィスベルグ氏のもと、ヨーロッパでも活発な演奏活動を始めつつ更なる研鑽を積む。使用楽器はPaolo Antonio Testore（1758製宗次コレクション）。

